

子どもから高齢者まで、

ちょっと知っとこ市民文化政策

森の劇場プロジェクトは、公共文化施設(白山総合文化センター)を人や地域の栄養になる活用の仕方を模索しつつけている市民グループです。

活動を始めて8年、

それは、みんながみんなでより愉快地に生きることをたのしみ合うことか?と思います。

一人ひとりがより愉快地に生きることと、

一人ひとりが市民文化政策を学ぶことはとても似ていると感じます。

今回 文化政策のスペシャリストで個性が興味深すぎる

中川幾郎氏を迎えて、

“自身に地域に地球に活かせる市民文化政策”

に触れてみたいと思います。

きっと、何だか愉快的な時間が生まれると予想します。どなた様もお越しく下さい。

オンライン配信予定

日時 : 2022年 7月 24日(日) 13:30~16:30

会場 : 津市白山町 上ノ村集会所 (津市白山町上ノ村2244)

参加費 : 無料 (可能な方は運営協力金500円/一家族 をお願いします)

申込み : TEL・FAX 262-2088 / メール info@popra.jp

森の劇場プロジェクト 検索

一・ 中川幾郎氏プロフィール ・一

帝塚山大学名誉教授、 大阪大学博士（国際公共政策）



同志社大学卒業、大阪大学大学院修了。専門は地方自治論、行政学、都市政策、文化政策、人権政策。1969年より豊中市役所に勤務、阪神淡路大震災時の市長公室広報課長を最後に退職。帝塚山大学大学院法政策研究科教授・法学部教授を経て、現在は帝塚山大学名誉教授。

■主な著書

『NPOと行政の協働』（豊中市、2014年、共著）

『地域自治のしくみと実践』（学芸出版社、2011年、編著）

『市民社会・文化・人権—文化から社会を問う』（NPO政策研究所、2009年、単著） 他多数

■所属学会・役員等

日本文化政策学会顧問（前会長）

日本アートマネジメント学会顧問

自治体学会副理事長

日本コミュニティ政策学会副会長

日本NPO学会、計画行政学会、日本公共政策学会、日本自治学会、文化経済学会などに所属

一・ 当日の予定内容について ・一

私たち（森の劇場プロジェクト）が、今まだ社会貢献につながることを願う市民活動を続けているのは、はじめの一步目で中川幾郎氏のこれからの文化政策に関する研究に出会えたからかもしれないと思います。上に記したように、大そう偉い先生だから協力を依頼したわけではなく、まるで舞台鑑賞のように中川氏の話と同じ空間で味わい、ざっくばらんに意見交換をたのしみたいと思います。

中川氏は、昨年末 鳥取県の「古代淀江ロマン遺跡回廊」を愛するメンバーの依頼講演の中で、地域おこしをする必要人材としてよく示される「若者・バカ者・よそ者」という言葉を、「夢を見る力を持つ者・地域を愛する勇気を持つ者・専門家」と示され、これがそろそろと何かが起こると話されていきました。

私たちは、この三者を併せ持つ人にも出会ってきましたし、見通す目を持つ若い世代にも接してきました。すでに、それぞれの年齢なりに中川氏の提唱する文化政策という考え方を持つ生き方をしている人は少なくないと感じます。

さて、市民文化政策という教養の共有は、みんながみんなで愉快地生きる基礎となりえるのか？

まずは、出会えたみなさんで感じてみたいと思います。

以下、主な発表者

- * 木村和正さん……………上ノ村縁結びプロジェクト（津市白山町上ノ村）
- * 木下 誠さん……………多気の郷元気づくり協議会（津市美杉町多気）
- * 天花寺陽子さん……………児童発達支援・放課後等デイサービス事業所運営（津市内）
- * 三溝哲史さん……………三重大学 人文学部 3 回生（上ノ村縁結びプロジェクト参加）
- * 山本怜依さん……………白山中学校 3 年生（子ども里山そうぞう学校卒業生活動参加）
- * 倉田三奈帆さん……………三重大学教育学部附属小学校 6 年生（子ども里山そうぞう学校専科生）
- * 中川幾郎氏……………“自身に地域に地球に活かせる市民文化政策”の可能性
- * 進行役……………長野多恵（NPO 法人森の劇場プロジェクト）